



さちが丘小学校 学校だより

若竹

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

11月号

令和3年10月29日
横浜市立さちが丘小学校
校長 高浜 正太郎
TEL.361-0777 FAX.361-0787

力を合わせて

校長 高浜 正太郎

10月23日(土)天候に恵まれ、秋風さわやかな気候の中、本校の運動会「さちフェス2021」を行うことができました。「ファイト一発 『幸(さち)』を勝ち取れ」をスローガンとして、子どもたちは運動会を成功させるためにそれぞれにめあてをもち、力を合わせて練習に取り組んできました。そして、運動会当日は、子どもたち一人ひとりが全力を尽くして演技や競技に取り組む姿をたくさん見ることができました。

低学年「はいさい!さち小エイサー!!」では、リズムに乗りながら楽しそうに体全体を使って踊る様子がとても微笑ましく感じられる演技を披露してくれました。中学年「さち小ソーラン2021」では大きな掛け声を出せないものの、その分、体を十分に使って躍動感あふれる演技を披露してくれました。高学年「飛翔~2021~」では、柔らかい動きと力強い動き、巧みな動きを組み合わせて、集団演技として見栄えのある旭区伝統の演技を堂々と披露してくれました。

各ブロックの演技でどれも共通していることは、上の学年の子どもたちが下の学年の子どもたちに演技を教えるところでした。去年は教わる側であったが、今年は教える側となり、それが本校の伝統として受け継がれていることが、校長として嬉しいところです。

また、50m走やハードル走、低中高学年別リレーでは、一人ひとりが持てる力を精一杯発揮しながら全力で走る姿が印象的でした。

そのほかにも、開閉会式、応援、全校ダンス、校歌、放送、会場旗など係ごとの活動では、6年生児童が中心となり、運動会を盛り上げるために力を合わせて準備・運営を進めていくことができました。責任をもってしっかりと取り組む姿を見てみると、「自分たちの力で、最後のさちフェスを成功させよう。」という気持ちが伝わってくるとともに、たいへん頼もしく感じられました。

閉会式には5・6年生が代表して参加しましたが、疲れた表情は見せずに笑顔で式に臨んでいました。きっと、この日のために練習してきたことを十分に発揮できた充実感が子どもたちの気持ちを最後まで高めてくれたからではないかと思いました。後期始業式の中で、子どもたちには「練習はうそをつかない」という話をしました。最後まであきらめずに努力することや、友だちと協力し合って高め合うことなど、さちフェスを通して子どもたちがそれぞれに身につけた力を、今後の学習活動に生かしてくれることを願っています。

お忙しい中ご来場くださり、ご声援をいただいた保護者の皆様、準備から当日の運営、終了後の片付けに至るまでご尽力いただいたPTA役員及び委員、ボランティアの皆様、どうもありがとうございました。心より感謝申し上げます。

これからますます深まっていく秋を迎えて、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋など、実り多き季節となります。本校でも来週から読書週間が始まりますが、各ご家庭や地域の中でも子どもたちが様々な秋を体験できるよう引き続きご協力お願いいたします。